

【資料6】

TMGH修士課程 講義科目一覧

Classification / Module Groups		Module	科目名(Module in Jap)	Credit	MTM	MSc	MPH	
Introduction to Global Health Modules 基礎科目		Basic Human Biology	基礎人間生物学	1	●	○	○	
		Tropical Medicine I	熱帯医学基礎I	2	●	◎	◎	
		Tropical Medicine II	熱帯医学基礎II	2	◎	◎	○	
		Global Health I	グローバルヘルスI	2	◎	◎	◎	
		Global Health II	グローバルヘルスII	1	◎	◎	◎	
		Global environment and health	地球環境・衛生学	2	◎	◎	◎	
Subtotal				10				
Research Methods Modules 専門基礎科目		Epidemiology I	疫学I	2	◎	◎	◎	
		Statistics for Population Health I	統計学I	2	◎	◎	◎	
		Research Ethics	研究倫理	1	◎	◎	◎	
	Subtotal				5			
Fieldwork 実習科目		Field Trip	短期フィールド研修	1	-	○	◎	
		Long Term Practicum	長期海外研修	2	-	-	◎	
	Subtotal				3			
Advanced Modules 応用科目	Scientific Basis of Tropical Medicine Module Group 基礎熱帯医学 モジュール	Medical Microbiology I	病原微生物学I	1	◎	○	○	
		Medical Microbiology II	病原微生物学II	2	◎	○	○	
		Medical Microbiology III	病原微生物学III	2	◎	○	○	
		Immunology	免疫学	1	◎	○	○	
		Biotechnology	バイオテクノロジー	1	◎	○	○	
		Pathology	病理学	1	◎	○	○	
		Subtotal				8		
	Clinical Tropical Medicine Module Group 臨床熱帯医学 モジュール	Clinical Tropical Medicine (Syndrome)	臨床熱帯医学 (臓器別)	2	◎	○	○	
		Clinical Tropical Medicine (Regional)	臨床熱帯医学 (地域別)	1	◎	○	○	
		Subtotal				3		
	Epidemiology/ Statistics Module Group 疫学・統計学 モジュール	Epidemiology II	疫学II	1	◎	○	○	
		Statistics for Population Health II	統計学II	1	◎	○	○	
		Subtotal				2		
	Environment/ Sanitation Module Group 地球環境・衛生学 モジュール	Medical Zoology	衛生動物学	2	◎	○	○	
		Subtotal				2		
	International Community Health Module Group 国際地域保健学 モジュール	Reproductive Health/Gende I	リプロダクティブ・ヘルス/ジェンダーI	1	○	○	◎	
		Child Health I	小児保健I	1	○	○	◎	
		Community Health I	地域保健I	1	○	○	◎	
		Child Health II	小児保健II	1	○	○	◎	
		Reproductive Health/Gender II	リプロダクティブ・ヘルス/ジェンダーII	1	○	○	○	
		Nutrition	栄養	1	○	○	○	
		Community Health II	地域保健II	1	○	○	○	
		Health Humanitarian Assistance I	緊急援助I	1	○	○	○	
		Health Humanitarian Assistance II	緊急援助II	1	○	○	○	
		Subtotal				9		
	Social/Behavioral Science Module Group 社会行動科学 モジュール	Health Promotion I	ヘルス・プロモーションI	1	○	○	◎	
		Medical Anthropology I	医療人類学I (概論)	1	○	○	◎	
		Quantitative Social Research	社会調査 (量的)	1	○	○	○	
Qualitative Research Method		社会調査 (質的)	1	○	○	○		
Health Promotion II		ヘルス・プロモーションII	1	○	○	○		
Medical Anthropology II		医療人類学II (応用)	1	○	○	○		
Demography		人口学	1	○	○	○		
Social Science Approach in the Global Health Research		国際保健研究への社会科学的方法	1	○	○	○		
Subtotal				8				
Health Policy/ Management Module Group 保健政策・ マネージメント モジュール	Health Economics	医療経済	1	○	○	◎		
	Health System and Policy I	保健制度・政策I	1	○	○	◎		
	Project and Programme Management in International HealthI	プロジェクト・プログラム管理I	1	○	○	◎		
	Official Development Assistance I	援助論I	1	○	○	○		
	Health Finance	保健財政	1	○	○	○		
	Development Economics	開発と経済	1	○	○	○		
	Health System and Policy II	保健制度・政策II	1	○	○	○		
	Development Assistance II	援助論II	1	○	○	○		
	Project and Programme Management in International Health II	プロジェクト・プログラム管理II	1	○	○	○		
	Social Entrepreneurship	社会起業論	1	○	○	○		
Subtotal				10				
Seminars and Tutorials 実習科目及び研究指導	Global Health Seminar	グローバルヘルスセミナー	2	◎	◎	◎		
	Global Health Tutorial I	グローバルヘルス演習I	1	◎	◎	◎		
	Global Health Tutorial II	グローバルヘルス演習II	1	-	◎	◎		
	Health Innovation Tutorial I	ヘルスイノベーションゼミI	2	-	◎	-		
	Health Innovation Tutorial II	ヘルスイノベーションゼミII	4	-	◎	-		
Subtotal				10				
Total				70	30	30	30	
Credits required for the completion of the course 修了要件単位		Compulsory Credits 必修単位			30	24	28	
		Elective Credits 選択単位			0	6	2	

博士後期課程で養成する人材像

TMIGH修士課程では、「コースワーク」型のカリキュラムを主体とする教育課程を編成しており、グローバルヘルス領域における課題を解決するために必須となる基礎的な知識及び研究能力を修得させてきた。よって、研究（特に国際的な共同研究やプログラム）への参加経験は導入レベルであったが、TMIGH博士後期課程では、「リサーチワーク」型のコースデザインにより、さらに高い次元でグローバルヘルスを理論的・実践的に研究・創造する能力を備えた高レベルのリーダーの養成をすするため、本格的な国際共同研究や国際共同プログラムへの参加が可能となる教育課程を構築する。博士後期課程で養成する人材像は以下のとおりである。

- ① **グローバルヘルス全体を俯瞰する能力と知識を有する者**
- ② **国際共同研究や国際共同プログラムへの参加経験を有し、当該共同研究等において主導して研究・活動する能力を有する者**
- ③ **成果を公表して、グローバルヘルス領域の科学研究を推進する能力を有する者**
- ④ **科学的知見に基づき、実践においてもインパクトを与えられる能力を有する者**

・グローバルヘルス分野において、研究者として自立して研究活動を行い、高度に専門的な業務に従事するに必要な高度な研究能力と、その基礎となる豊かな学識を備えた人材であり、国際的環境の中で、グローバルヘルス分野における国際共同研究・実践プロジェクトを推進できる能力を有した人材。

・当該領域における実務の推進、研究によるエビデンスの創出又はエビデンスに基づいた意思決定などができる組織リーダーとなる人材が不足している。

具体的には・・・

- ① 国際プロジェクトにおける研究員。国際研究プロジェクトでの研究成果を創出。例えば、LSHTMが複数の大学と共同で推進するワクチントライアルなど感染症対策介入プロジェクトのプロジェクトマネージャー
- ② 国際プロジェクトにおける高度専門家。国際実践プロジェクトの推進を担当。例えば、日英が共同で推進する第3国におけるUHC推進介入プロジェクトのプロジェクトマネージャー
- ③ 上記、①、②にかかわるような、国際機関、国内機関（JICA等）、研究所、大学、企業、国際コンサル会社、国際NPO。
以上は、国内のみならず、海外の企業、NPO、大学などを想定。

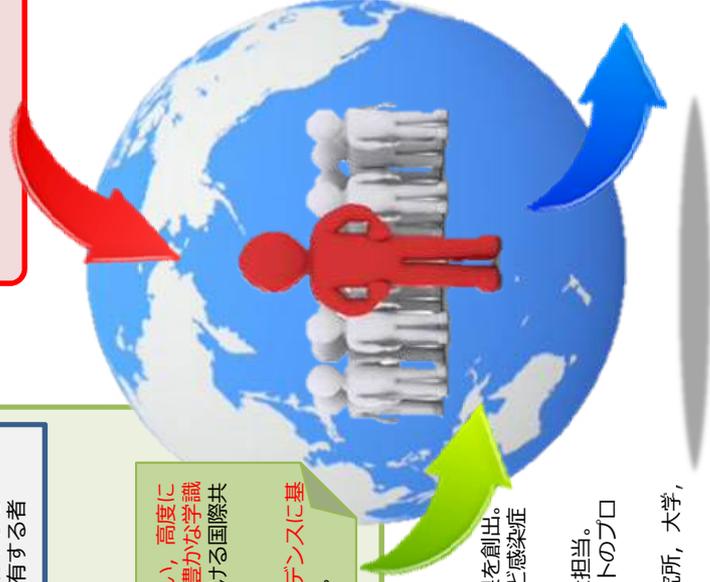
リーダーに必要な能力

- ① 学際的かつ多国籍な人員で構築されるプロジェクトの遂行に必要な、幅広い知識と高い語学力（英語）によるコミュニケーション能力
- ② 定められた期間及び予算の中で目的を達成するために必要な行動計画を策定し、その内容をプロジェクト構成員に説明、同調させる能力
- ③ 予期しない状況及び不確実性に耐え、当該状況下でプロジェクトに必要な意思決定（取捨選択）をできる能力

修士課程との違い

大きな違いは、博士後期課程修了者は国際共同研究等において高い次元でのグローバルヘルス教育を受けたリーダーであり、修士課程修了者よりも高いレベルを設定している。また、グローバルヘルスに関わる国際的なプロジェクトは、多国籍で多文化な人員により構成されることから、当該分野でのリーダーとしては博士号を取得（もちろん知識レベルとしても博士レベルが必要）していることが重要となる。

グローバルヘルス分野
におけるリーダーの育成



Academic Committee (AC学務委員会)

⑤ 論文審査及び修了判定を実施する。論文審査における主査及び副主査を選定し、審査員による審査結果の精査を実施し、教授会に報告することにより学位の質を担保する。

④ 研究計画、行動計画の策定・審査・進捗管理
国際共同研究等のリーダーに必要となる以下の能力を修得させるため、AC学務委員会は、研究計画書を策定させ、当該計画の事前審査(Qualifying Examination)、進捗管理(原則として6ヶ月毎にブログレスレポートを提出させる)、最終審査(発表会含む)を実施して教育の質を担保するものとする。
事前審査は、1年次終了時(9月)に実施し、進捗管理は参画するプロジェクトにより異なるが、原則として6ヶ月毎にレポートを提出させる。最終審査は、博士論文の基となる研究が終了した時点で実施するものとする。

- 1.学際的かつ多国籍な人員で構築されるプロジェクトの遂行に必要な、幅広い知識と高い語学力(英語)によるコミュニケーション能力
- 2.定められた期間及び予算の中で目的を達成するために必要な行動計画を策定し、その内容をプロジェクト構成員に説明、同調させる能力
- 3.予期しない状況及び不確実性に耐え、当該状況下でプロジェクトに必要な意思決定(取捨選択)ができる能力

③ 研究計画書審査委員会における審査員の選定。審査委員会の結果報告の精査を行う。

② 学生の研究テーマに沿ってベストマッチングの研究指導チームを構築し教授会に報告する。学生が、グローバルヘルス領域において国際共同研究等により卓越した博士論文作成が可能となる研究指導チームを構築。

① アドミッションポリシーに沿って、入学選抜試験を実施する。試験官等の選考も実施し、TMGH博士後期課程のカリキュラムに耐える入学者のレベルを担保する。

※入学選抜試験において、書類審査、外国語検定試験、面接を実施し、高い意欲と英語力、そしてコミュニケーション能力を持った学生を選抜する。

2~3年次

- 学生は、AC学務委員会が選定した審査委員より、下記の基準に沿って審査を受ける。
- ① 当該学術専門領域の専門家による詳細な査読に応え、しかるべき学術誌の掲載に値する独自の研究を遂行し、当該専門領域に新たな知見と解釈を生み出す能力を有すること
 - ② 当該学術専門領域の最新知識を体系的に十分理解し、獲得していること
 - ③ 当該学術専門領域に新たな知見、応用法、あるいは解釈をもたらす研究を構想、設計、遂行し、予期しない問題に直面した際、研究設計を修正するための幅広い能力を有すること
 - ④ 研究及び高度な学術調査に応用可能な技術に対する深い理解を有すること

(グローバルヘルス特別研究)国際共同研究

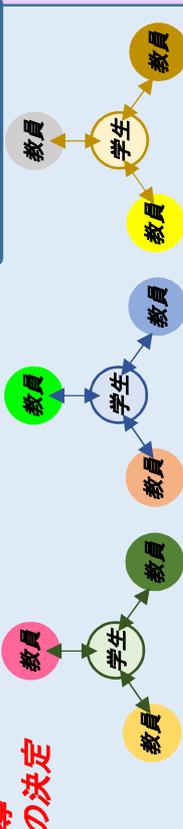
国際共同研究等に参画することで、グローバルヘルス領域にかかる高い専門性とリーダーとして必要な能力を修得させることとしている。
グローバルヘルス領域にかかる専門性は、実際に国際共同研究等に参画する中で、主指導教員を中心とした研究指導チームによる指導により修得する。左記したリーダーとして必要な能力は、自己で作成した研究計画の中で、タイムスケジュールや予算執行計画等の行動計画を策定し、ACの評価を受け、さらに活動中に予期しない事象により当該計画に変更等があった場合、当該プロジェクトメンバーとのミーティングを実施し、研究計画を修正すると共に、当該修正内容と対応をレポートとして作成し、AC学務委員会に提出する。また、参画するプロジェクト自体の実施計画に変更等が発生した場合、当該プロジェクトリーダー及び指導教員が必要と認める事項について、当該プロジェクトリーダーが実施計画の変更のために実施した判断及び対応についてレポートを作成し、当該プロジェクトリーダー及び指導教員、AC学務委員会に提出する。

国際共同研究等における行動計画の策定

1年次

研究計画書発表・審査委員会

研究指導
チームの決定



入学選抜試験

出願時:出願者と教員の面談等により主指導教員の内諾を得る。



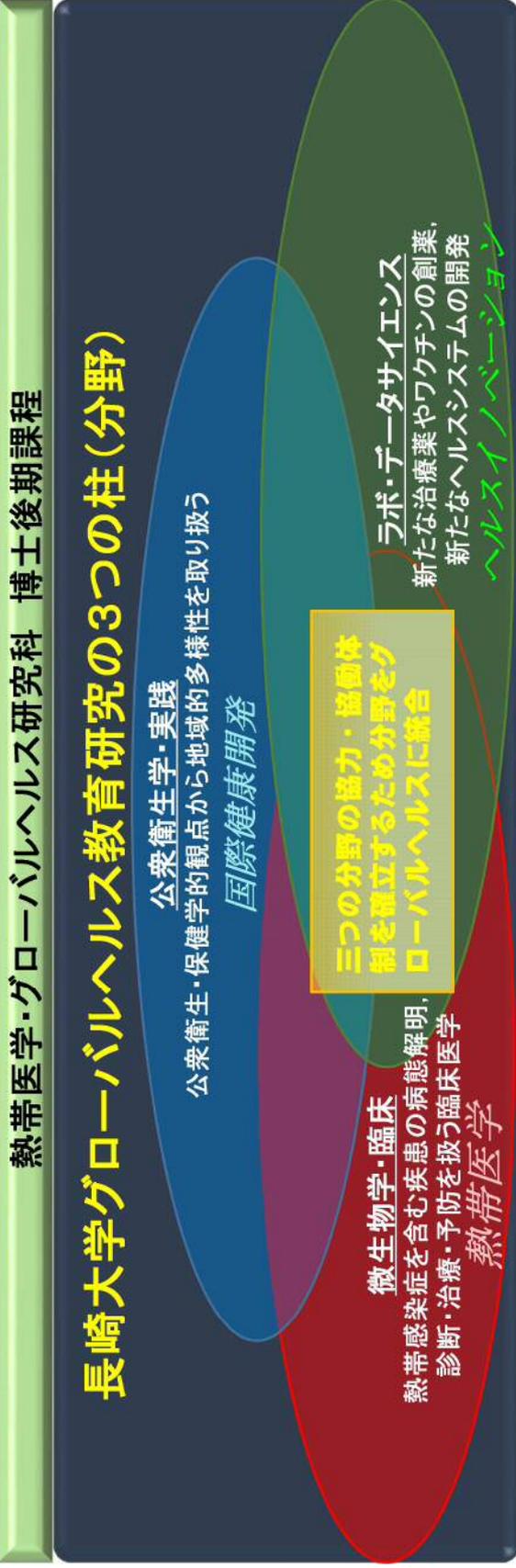
博士後期課程グローバルヘルス専攻 学務スケジュール 及び AC学務委員会等の役割について

学年	学期 時期	学務事項	指導教員	AC学務委員会	教授会
—		入学前	学生と指導教員の面談等により、主指導教員の内諾を得る		
1年	1Q 10月	入学者選抜試験		試験官を選考し、入学選抜試験を実施する。 試験結果を教授会に報告する。	試験結果報告 入学者選抜試験の合否判定を行い、学長に上申する。
1年	1Q 12月	研究指導チームの決定	学生の研究テーマに沿って、副指導教員を選考する。	入学前に学生が内諾を得ていた主指導教員と協議し、学生の研究テーマに沿ったベストマッチングな研究指導チームを構築し、教授会に報告する。	結果報告 AC学務委員会から報告があった、研究指導チームを審議・決定する。
	2Q 1月		研究指導チーム ・主指導教員 1名 ・副指導教員 2名以上		
1年	4Q 8月	博士研究資格審査(研究計画書審査委員会)	研究指導チームは学生の研究計画書の予備審査を実施する(問題が無ければ押印の上、学生にAC学務委員会に提出させる)。また、AC学務委員会からの報告に基づき、研究計画の修正等を実施する。再審査となった場合翌9月までに修正し、AC学務委員会に提出する。	研究計画書審査員を選定する。審査委員会の結果報告について精査を行い、結果を教授会に報告する。また、再提出の必要があれば、研究指導チーム及び学生に研究計画の変更等を指示する。	結果報告 AC学務委員会から報告があった、審査結果を審議・決定する。
	4Q 9月	再審査	再提出	AC学務委員会は、再提出された研究計画書を審査し結果を教授会に報告する。	
2~3年	1Q 10月	研究の進捗管理	博士研究資格審査に合格した学生の研究指導を実施する。	研究の進捗管理(学生に、原則として6ヶ月毎にプログレスレポートを提出させる)、最終審査(発表会含む)を実施して教育の質を担保するものとする。 進捗管理は参画するプロジェクトにより異なるが、原則として6ヶ月毎にレポートを提出させる。最終審査は、博士論文の基となる研究が終了した時点で実施するものとする。	
	2Q 3月				
3年	3Q 5月	論文審査 最終試験		論文審査員(主査及び副査)を選定し教授会に報告する。	結果報告 AC学務委員会から報告があった、論文審査員を審議・決定する。
	4Q 6月~9月			論文審査会 AC学務委員会に選定された審査員により審査・試験を実施し、結果をAC学務委員会に報告する。 修了判定までに論文審査又は最終試験に合格しなかった者における再試験は10月以降に実施する。	
3年	4Q 9月上旬	修了判定		論文審査会の審査結果にかかる精査及び単位修得状況等を踏まえ、修了判定案を作成し、教授会に報告する。	結果報告 AC学務委員会から報告があった、修了判定案を審議・決定し、学長に上申する。

熱帯医学・グローバルヘルス研究科が教育研究の中心とするのは、熱帯医学を基礎としたグローバルヘルスであり、国際舞台の現場で活躍できる人材を養成する。つまり、国際連携専攻ではないグローバルヘルス専攻であっても、その名とおり基本的にグローバル化された教育体系を構築する必要がある。今回設置するグローバルヘルス専攻と国際連携専攻は教育内容が近いものとなる。ただし、国際連携専攻については、こちらもその名のとおり、グローバル化された教育内容を構築することとなるが、LSHTMと共同で学位プログラムを構築することから、必ずLSHTMの教員が研究指導に参画すること及びTMGHとLSHTM、引いては日英の連携を推進する人材の養成を目的とすることに大きな違いがあると言える。

グローバルヘルス専攻		国際連携専攻 (JD)	
学 位	Doctor of Philosophy 博士(グローバルヘルス)	〈長崎大学長及びLSHTM学長の連名による学位〉 Doctor of Philosophy 博士(グローバルヘルス)	
人材養成像	・国際共同研究等における高い次元でグローバルヘルスを理論的・実践的に研究・創造する能力を備えた実践的・社会的リーダーの養成。 ・国際共同研究等に実際に学生が参加する中で指導を受ける。 ・修了単位16単位。 ・日本国内の企業等との共同研究やLSHTM以外(ハーバード大学、アントワープ王立熱帯医学研究所等)との共同研究に参画	・国際共同研究等における高い次元でグローバルヘルスを理論的・実践的に研究・創造する能力を備えた実践的・社会的リーダーの養成。 ・TMGH及びLSHTMのパートナーシップ、ひいては日英の連携をより強固なものへ推進する能力を持った学生の養成。 ・学生が参加する国際共同研究及び将来的に実施する研究やプロジェクトのほとんどはTMGHとLSHTMが共同で実施するものを想定しており、日英が共同で推進する研究プロジェクトや実践プロジェクトのリーダーとして推進する能力を養成するカリキュラム。 ・柔軟なカリキュラムを提供するため授業科目としての単位を課さない。	
入学選抜試験	・面接 ・外国語検定試験 (IELTS6.5相当) ・書類審査	・外国語検定試験 (IELTS7.0相当) ・書類審査 ※必要に応じてJACの面接	
研究指導体制	・チーム型研究指導体制 グローバルヘルスの3大構成要素とも言うべき3つの異なる分野(臨床、公衆衛生、ラボ・データサイエンス)を専門とする主指導教員及び副指導教員から指導を受ける。	・チーム型研究指導体制 グローバルヘルスの3大構成要素とも言うべき3つの異なる分野(臨床、公衆衛生、ラボ・データサイエンス)を専門とする主指導教員及び副指導教員から指導を受ける。 国際連携専攻については、上述の3分野に加え、LSHTMの強みであるグローバルヘルス政策や医療経済等も含め、指導教員のうち1名は必ずLSHTMの教員が担当する。	
特 記 事 項	・LSHTM以外の大学との共同研究に参画を希望する場合や、長期での英国留学が難しい学生の受入が可能。	・LSHTMに所属する教員からの直接的な指導を受けられることが可能 ・グローバルヘルス領域におけるLSHTMの評価は世界的に高く、両校学長の連名による学位を取得ができる	

既設修士課程との関係



熱帯医学・グローバルヘルス研究科 修士課程(博士前期課程)		
グローバルヘルス専攻		
熱帯医学コース	国際健康開発コース	ヘルスイノベーションコース
<p>・コースの概要</p> <p>熱帯地・途上国の臨床現場において必要とされる臨床能力と、応用研究を実施するための基礎的研究能力を教授することを主眼とする。</p>	<p>・コースの概要</p> <p>国際保健/GHの現場における実務専門家(国際機関職員等)に必要なとされる実践的能力を教授することを主眼とする。</p>	<p>・コースの概要</p> <p>熱帯医学、国際保健/GHのある特定領域における応用研究を実施するための基礎的研究能力を教授することを主眼とする。</p>

LACS (主体的学習促進支援システム)について

LACS

主体的学習促進支援システム

- ① 学生と教員、学生同士、教員同士のコミュニケーションを促進
- ② 授業に関する様々な情報(目標、メモ、課題・レポート等)を管理
- ③ ポートフォリオを活用し、学生の「気づき」や教員の「改善」を支援

教員ポートフォリオ

- 授業関連
 - 授業哲学
 - シラバス(詳細)
 - 授業メモ
 - その他リソース
- 教育改善関係
 - 学生による授業評価
 - 授業改善方策
 - FD等への参加
- 地域貢献関係
 - セミナー等の講師
 - 学外講演

改善・発信



SNS

- 授業コミュニティ
- 教員間コミュニティ
- 課外活動コミュニティ
- 掲示板
- お知らせ

コミュニケーション

学習管理(LMS)

- 出欠管理
- 教材管理
- 課題管理
- システム利用時間
- アクセス記録

マネジメント



収集・蓄積・分析・可視化

学生ポートフォリオ

- 授業関連
 - 目標設定
 - 授業メモ
 - 自己評価
- 時間外学習関連
 - 学習内容
 - 学習時間
- 評価・成績
 - レポート・テスト
 - 質問と回答
- 資格等

省察・発信



能動的で主体的な学びを育む教育・学習の「型」の形成 かた

IACSとコミュニケーション

